
testDoc Documentation

Release

mindtools@mac.com

Jun 10, 2017

Contents:

1 admonition のサンプル	1
1.1 html 出力の設定	1
1.2 pdf 出力の設定	2
1.3 以下サンプル	4
2 Indices and tables	7

admonition のサンプル

デフォルトの設定のままだと、admonition の html/pdf 出力共に味気ない。css と sty ファイルを書いて、少しだけ見た目を改善した。

1.1 html 出力の設定

conf.py の末尾に以下を設定して、css を適当にいじる。

```
# HTML テーマに独自の CSS/JS ファイルを読み込ませてデザイン調整等したい
# http://sphinx-users.jp/reverse-dict/html/custom-css-js.html
def setup(app):
    app.add_stylesheet('custom.css') # ここは html 用
```

画像ファイルや、css は _static ディレクトリ直下へ配置する。

_static に custom.css を配置

```
.
|-- Makefile
`-- source
    |-- _static
    |   |-- Caution.png    <--- これらは、アイコン用の画像
    |   |-- Danger.png
    |   |-- Note.png
    |   |-- Question.png
    |   |-- Tip.png
    |   |-- Warning.png
    |   `-- custom.css     <--- カスタム css
    |-- _templates
    |-- admonition.rst
    |-- conf.py
    `-- index.rst
```

**Tip:**

tree コマンドの出力をそのまま使うと、pdf 出力で文字化けしてしまった。tree **--charset=C** とオプションを指定することで、文字化けしない文字だけで構成することで回避できる。

custom.css では、以下のようになっている。

```
/* -- div.admonition ----- */
/*アイコンの下に付くように、タイトル文の表示位置の設定*/
div.admonition p.admonition-title {
    width: 65px;
    padding-top: 65px;
    text-align: center;
    font-weight: bolder;
    font-size: 18px;
    float:left;
    margin-left: -18px;
}

/*タイトル以外の文をアイコンを避けるように配置*/
p.last {
    padding-top: 0px;
    padding-right: 9px;
    padding-left: 100px;
    text-align: left;
    margin-top: 0px;
}

/*アイコンの配置と背景色の設定*/
div.caution{
    background: url(Caution.png) no-repeat;
    background-position: 9px 9px;
    background-size: 64px 64px;

    border-radius: 10px 10px 10px 10px;
    background-color: #ededed;
    min-height: 110px;

    border: none;
}
.
.
.
```

1.2 pdf 出力の設定

カスタム設定をまとめる、*.sty ファイルを作り、読み込ませる。

_static に custom.sty を配置

```
.
|-- Makefile
`-- source
```

```

|-- _static
|   |-- Caution.png
|   |-- Danger.png
|   |-- Note.png
|   |-- Question.png
|   |-- Tip.png
|   |-- Warning.png
|   |-- custom.css
|   `-- custom.sty      <--- カスタム sty
|-- _templates
|-- admonition.rst
|-- conf.py
`-- index.rst

```

`_static/custom.sty` とアイコン群をを `conf.py` の `latex_additional_files` を使って、build 時に latex が読み込める位置コピーさせる。`conf.py` に以下の設定を書き足す。

```

# preamble に長々と書きたく無いので、custom.sty へ外出したものを読み込むようにする。
latex_additional_files = ['_static/custom.sty',
                          '_static/Caution.png', # admonition で使用するアイコン画像群
                          '_static/Danger.png',
                          '_static/Note.png',
                          '_static/Question.png',
                          '_static/Tip.png',
                          '_static/Warning.png'
                          ]

```

`custom.sty` を読み込むために、`latex_elements/preamble` に設定。`passoptionstopackages` を追加しているが自分はよくわかっていない。おそらく、`tcolorbox` が `xcolor` を要求するのだと思っている。`conf.py` に以下の設定を書き足す。

```

latex_elements = {
    .
    .
    .
    'passoptionstopackages': r'\PassOptionsToPackage{dvipdfmx}{xcolor}',

    # 同じディレクトリにある custum.sty を読み込む。
    'preamble': r'\usepackage{custom}',
}

```

`custom.sty` では、`admonition` のマクロの置き換えを行なっている。

- 灰色の囲いは、`tcolorbox` パッケージを使って描画している
- `admonition` のマクロは、`sphinx.sty` の中で定義されている以下のマクロを再定義して、実装している。
- `caution` は `sphinxcaution` マクロ、`dange` は `sphinxdanger` が定義されている。

```

\usepackage{tcolorbox}

% sphinxadmonition を一部上書きするための Helper マクロ。アイコンと文字列を指定して囲みを作る。
\newenvironment{sphinxadmonition_helper}[2] % アイコン画像名, タイトル文字列
{
    \begin{tcolorbox}[colframe=white ,sidebyside, lower separated=false, lefthand_
↪width=1.6cm, arc=5mm]
        \center

```

```

\includegraphics[width=1.6cm]{#1}\
\bf #2
\tcblower
}
{
\end{tcolorbox}
}

% ".. caution::"の対応。 sphinx.sty の sphinxadmonition の中から呼び出されるマクロを上書きしている
\renewenvironment{sphinxcaution}[1]
{\begin{sphinxadmonition_helper}{Caution.png}{#1}}{\end{sphinxadmonition_helper}}

% ".. danger::"の対応。
\renewenvironment{sphinxdanger}[1]
{\begin{sphinxadmonition_helper}{Danger.png}{#1}}{\end{sphinxadmonition_helper}}

.
.
.

```

1.3 以下サンプル



Caution:

caution 用のディレクティブはこう。old mac 風のアイコンで区別できるようにしてあります。なかなかそれっぽくできた。



Danger:

危険(?) のディレクティブをかくとこんな感じ。前は爆弾マークだったのだが、テロ推奨マークのようであまりいい感じがしなかったので、ドクロマークに変更した。



Note:

ノート用のディレクティブはこう。この”Note” や”Danger” の文字を消すには、コラムディレクティブ (<http://sphinx-users.jp/cookbook/columndirective/index.html>) を使う必要があるみたい。CSS の float 属性と Padding をうまく使って、”Note” や”Danger” の文字をアイコンの下へつけるようにした。



Tip:

tip のディレクティブをかくとこんな感じ。本文の上辺の padding もアイコンの上辺と合わせたつもり。



Warning:

警告用のディレクティブをかくとこんな感じ。種類によって背景色も変えた方が良くかも
と思って色々試した。が、色をつけると以外に下品になる。色については AppleHelpFile
を作るときにもう少し考えてから行うことにする。

CHAPTER 2

Indices and tables

- `genindex`
- `modindex`
- `search`